

事 業 概 要

令和 4 年度版



東 京 都 立 図 書 館

令和 4 年 7 月

事業概要 令和4年度版 目次

I	組織概要	
1	東京都立図書館運営方針	1
2	東京都立図書館運営組織図	3
3	東京都立図書館事務分掌	4
II	主要事業	
1	令和4年度 主要事業	5
2	令和3年度 主要事業報告	6
III	予算・決算	
1	令和4年度 予算	9
2	令和3年度 決算	10
IV	統計資料（令和4年3月31日現在）	
1	所蔵状況	11
2	オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	12
3	図書館資料収集・整理統計	13
4	利用統計資料（令和3年度実績）	14
(1)	利用状況	14
(2)	登録利用者数	15
(3)	レファレンス件数	15
(4)	書庫内資料利用冊数	16
(5)	情報リテラシー支援件数	16
(6)	政策立案支援サービス件数	16
(7)	特別文庫室利用状況	17
(8)	音声・映像資料利用状況	17
(9)	視覚障害者等サービス状況	17
(10)	協力貸出状況	17
(11)	多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	18
(12)	ホームページ利用状況	18
(13)	チャットボット利用状況	18
(14)	多摩図書館 セミナールーム使用状況	18
V	事業実績（令和3年度）	
1	展示等の事業（展示・講演会等）	19
2	区市町村立図書館職員等への研修等	22
3	学校教育活動への支援事業	23
4	職員研修等	25
5	刊行物及びホームページでの情報提供	26
6	都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和2年2月～令和4年3月	27
VI	所蔵コレクションの紹介	
1	中央図書館	30
(1)	特別文庫室資料 (2) 東京資料 (3) 海外資料	
2	多摩図書館	32
(1)	山本有三文庫 (2) 雑誌創刊号コレクション (3) 児童・青少年資料	
VII	東京都立図書館協議会	33
VIII	資料	
1	東京都立図書館館則	35
2	東京都立図書館沿革	38
3	図書館関係団体・組織一覧	42
4	東京都立図書館ネットワーク概念図	43
5	東京都立図書館シンボルマーク	44
6	ホームページ及びソーシャルメディア	44
7	フロア概要	45
(1)	中央図書館	45
(2)	多摩図書館	48
8	案内図	50

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

（情報サービスに関すること）

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

（資料管理に関すること）

- 13 図書館資料は、原則として 1 資料 1 点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

（協力支援に関すること）

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

（施行期日）

- 1 この方針は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

（東京都立中央図書館運営方針の廃止）

- 2 「東京都立中央図書館運営方針（47 日図発第 234 号）」は廃止する。

（東京都立多摩図書館運営方針の廃止）

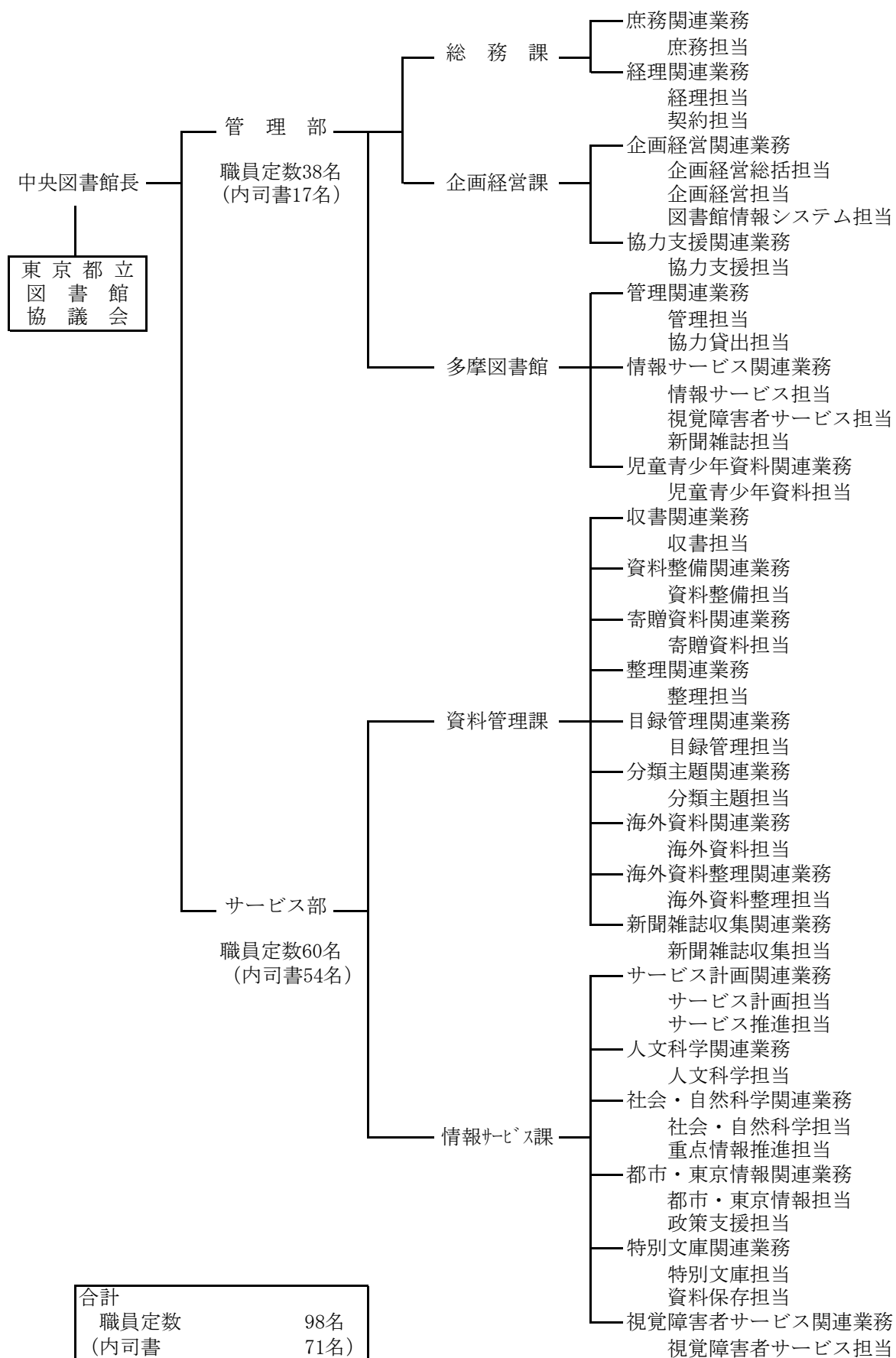
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針（61 教社計多第 111 号）」は廃止する。

附 則

この方針は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(令和4年4月1日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
		中央図書館内他の部課に属さないこと
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
		海外の図書館等との交流に関すること
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
		多摩図書館の公文書の管理
		多摩図書館の広報・統計・調査
		多摩図書館のサービス計画に関すること
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること
		多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること
		東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附帯設備の貸出しに関すること
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し
		多摩図書館の利用案内に関すること
		多摩図書館の施設及び設備の維持管理
		多摩図書館の館内の取締り
	サービス部	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
		部内他の課に属さないこと
		都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
	情報サービス課	中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

東京都立図書館処務規則より抜粋

Ⅱ 主要事業

1 令和4年度 主要事業

「都立図書館実行プラン 2021-2023 AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」（令和3年2月）に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の2年目である令和4年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 首都東京の図書館として、情報流通をめぐる社会環境の変化に対応し、「東京」情報の集積・発信を推進する。

- ア 社会環境の変化を踏まえた「東京」情報の集積・発信
- イ 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用した情報発信
- ウ 中央図書館50周年記念事業の取組

【具体的な取組】

新しい時代の東京をテーマにした講座・セミナーの充実、東京に関する音声・映像資料の保存の考え方の整理、オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用 等

(2) ICTを積極的に活用して、東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

- ア ICTを活用したレファレンス機能の強化
- イ 東京マガジンバンクカレッジの取組による利用者のアクティブな学びの支援
- ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実
- エ ICTを活用した学校への支援拡充
- オ 区市町村立図書館、大学図書館とのネットワーク強化

【具体的な取組】

チャットボット及びチャットによるレファレンスサービスに向けた検討、複写サービスの改善に向けた検討、新たなチャネルを活用した行政活動への支援拡充、東京マガジンバンクカレッジ事業の再構築、外国人利用者に向けたサービスの推進、新たなチャネルを活用した学校教育への支援拡充、特別支援学校図書館整備支援の充実、区市町村立図書館との情報共有の推進 等

(3) 図書館機能のDX化に着手し、新たな時代の東京における情報環境を整備する。

- ア 都立図書館サービスのDX化に向けた基盤整備
- イ 館内施設の整備・活用促進
- ウ 新たな時代を見据えた人材育成の展開

【具体的な取組】

ディスカバリーサービスの導入、電子書架機能の整備、動画による情報発信やオンライン研修のための基盤整備、電子書籍サービスの拡充、オンラインデータベースの導入支援、計画的な施設整備による利用環境の向上、職員育成基本方針の改定・新方針に基づく実施 等

《共通の施策》 積極的な情報発信を通じた都立図書館のPR

【具体的な取組】

新図書館を見据えた連続性のあるイメージ戦略、広報活用の戦略的な展開、外国人をターゲットにした広報の充実 等

2 令和3年度 主要事業報告

- (1) 首都東京の図書館として、情報流通をめぐる社会環境の変化に対応し、「東京」情報の集積、発信を推進する。

ア 社会環境の変更を踏まえた「東京」情報の集積・発信

東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）の江戸・東京関係資料の画像のうち、著作権が消滅しているものについてパブリックドメインを表示し、システムのプログラム修正を行って申込手続を不要にすることにより、画像のオープンデータ化を実施した。また、TOKYO アーカイブの画像が国立国会図書館「ジャパンサーチ」から検索できるように、連携に必要な手続を進めた。

令和3年11月に特別文庫室所蔵資料を利用者用蔵書検索で公開した。これにより、特別文庫室の全資料が蔵書検索で検索できるようになった。

イ 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用した情報発信

東京2020大会前後に刊行されたオリンピック・パラリンピック関連資料を積極的に収集した。また、大会関連のアーカイブ資産を国内に継承し保存・管理・利活用を図るプロジェクトに資産管理活用機関の一つとして参画し、東京都オリンピック・パラリンピック準備局や大会組織委員会等と調整を行いながら、資産の選定、移送、寄託手続を進めた。令和4年1月には中央図書館に新たに展示コーナーを設置し、資産の一部の展示を開始した。

大会後、ウェブページ「オリンピック・パラリンピックの世界」を再構成し、新たに「東京2020アーカイブ資産展示コーナー」ページを追加して、メモリアルコンテンツとして整備した。

- (2) ICTを積極的に活用して、東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア ICTを活用したレファレンス機能の強化

令和4年1月にデジタルサービス局所管の全庁チャットボット共通基盤で「都立図書館利用案内Q&A」（日本語版・英語版）を公開した。

複写サービスの利便性向上を図るため、複写受付窓口における料金徴収においてキャッシュレス決済の導入を検討した。

イ 東京マガジンバンクカレッジの取組による利用者のアクティブな学びの支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、東京マガジンバンクカレッジ雑誌総合セクション及び鉄道セクションのイベントをオンライン開催した。雑誌総合セクションでは、東京マガジンバンクカレッジの団体パートナーと多摩図書館との協働事業として、雑誌制作や出版・ジャーナリズム関係の研究に携わる大学生等による成果発表会を実施した。鉄道セクションでは、鉄道雑誌編集者を講師とした講演会を実施した。両事業については、都立図書館ホームページのほか、パートナー通信で報告した。

ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実

中央図書館では、工事休館明けの令和4年1月、1階中央ホールに「話題の洋書コーナー」を開設した。これまで同所に設置していた「Books on Japan コーナー」の図書を核とし、日本の伝統・文化や観光情報を紹介する洋書（※）のほか、各分野の新作洋書を集めた。また、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」をタイムリーに提供している。

※都立図書館では、中国語・韓国朝鮮語図書以外の外国語図書を洋書として扱っている。

図書寄贈の申し出が駐日エクアドル共和国大使館（101冊）、パキスタン＝イスラーム共和国大使館（14冊）からあり、受入れた。

多摩図書館では、外国人対応をスムーズにできるようにするため、窓口に翻訳アプリや指さしマニュアルを常時設置している。

また、国分寺市をはじめとして、八王子市、武蔵野市、三鷹市、小平市等の国際交流団体（7団体）を訪問し、所蔵資料の説明及び利用案内を配布し、PR活動を実施した。

エ ICTを活用した学校への支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により、校外学習等の受入れが大幅に減ったものの、オンラインで都立図書館の使い方やレポートの書き方を学ぶ講座の実施や、感染拡大防止策を徹底して校外学習等の受入れを行った。

都立図書館ホームページに掲載している「書評情報通信」を、書評情報を中心に青少年向け図書の選書に役立つツールを紹介する「青少年向け図書選書お役立ちツール」にリニューアルした。また、特別支援学校を対象に選書等相談会を行い、学校図書館の整備支援を行った。

オ 特別な支援を必要とする子供たちの読書支援

令和3年11月に、多摩図書館こどものへやに「りんごの棚～だれでもよめる子どもの本」コーナーを設置した。コーナーには、子供向けに作られた、点字の本、LLブック、大活字本、布絵本、マルチメディアデジジー約50点を配置した。

また令和4年2月には、都立図書館ホームページに、特別支援学校の学校図書館整備支援として紹介してきた本のリスト「特別支援学校向け 学校図書館基本図書リスト」を掲載した。

カ 区市町村立図書館、大学図書館とのネットワーク強化

区市町村立図書館のニーズや著作権法に留意の上、オンラインによる研修や動画を活用したレファレンスサービスの拡充について検討した。

また、区市町村立図書館でのWeb会議環境を調査し、その実施可能状況について協力事務担当者会を通じて情報共有した。

(3) 図書館機能のDX化に着手し、新たな時代の東京における情報環境を整備する。

ア 都立図書館サービスのDX化に向けた基盤整備

他道府県の導入事例や区市町村立図書館ニーズの調査を行い、島しょ、町村部を対象とする電子書籍サービスの拡充、オンラインデータベースの導入支援について検討した。

イ 館内施設の整備・活用促進

中央図書館では、劣化度診断調査の結果を踏まえ、令和3年11月から令和4年1月にかけて空調改修工事及び照明のLED化（1階～3階）を実施し、環境改善を図った。

ウ 新たな時代を見据えた人材育成の展開

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目指し、OJTや館内研修、派遣研修等に取り組んだ。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの研修が中止や縮小を余儀なくされたが、令和3年度は、オンラインやオンデマンドでの研修が増加し、感染防止とともに場所や時間の制約回避にとらわれない研修の受講が可能となった。また、主任級司書職員の育成の一環として、国立国会図書館との1年間の人事交流が復活した。

(4) 戦略的な情報発信を通じた都立図書館の PR

ア 新たな手法による情報発信強化

都立図書館をわかりやすく紹介した 6 秒程度のアニメ動画を 12 本作成し、東京動画や SNS で公開した。

外国人に対する広報では、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う臨時休館等の緊急時対応について、日本語の他に英語によるホームページや SNS で情報発信した。

中央図書館の工事等により令和 3 年 11 月 11 日から令和 4 年 1 月 6 日まで来館サービスを休止した際には、「司書のお仕事紹介」の記事や、特別整理の様子や工事の進捗状況をお知らせする SNS を発信した。

都立図書館ホームページ上で利用者の質問に回答するチャットボットを令和 4 年 1 月 12 日に公開した。

多摩図書館では、令和 3 年度、コロナ禍での情報発信のツールとして、都立図書館ホームページや SNS の活用に加えて、毎月、エフエムラジオ立川の情報番組に職員が生出演し、館内利用 PR やイベント情報等の発信を行った。

イ イベント等の取り組み

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、例年都立図書館の所在地にある区市で実施するイベント等に出展しているが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催者側が開催を中止した。中止となったイベントは以下のとおり。

(ア) 港区主催 毎年 5 月実施 「エコライフ・フェア MINATO」

(イ) 港区主催 毎年 10 月実施 「みなと区民まつり」

(ウ) 国分寺市主催 毎年 11 月実施 「国分寺まつり」

「みなと区民まつり」については、令和 4 年 2 月に開催された「WEBでみなと区民まつり 2021」に参加し、編集されたアニメ動画を提供した。

令和 3 年 5 ～ 6 月に「都庁第一本庁舎中央部アートワーク台座」に出展し、都庁を訪れる人へ都立図書館を紹介するパネル展示を行った。

Ⅲ 予算・決算

1 令和4年度 予算

(千円)

項 目	予 算 額			内 容
	令和4年度	令和3年度	増△減	
管理運営等	879,161 (7,454)	833,134 (7,536)	46,027 (△ 82)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費（図書館改修工事含む）
サービス事業	160,712 (10,787)	146,283 (10,744)	14,429 (43)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者等サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	388,944 (6,471)	382,626 (6,390)	6,318 (81)	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 〔令和4年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 26,430 冊 （東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。） ・既刊書 1,116 冊 （明治以降昭和40年代までの欠本） ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書（児童書） 3,600 冊 同上（青少年） 2,250 冊 ・中国語・韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 39,526 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,084 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 373 種
電算システムの運営	97,143	137,697	△ 40,554	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,578 (1,273)	1,630 (1,292)	△ 52 (△ 19)	委員数 11名 定例会 年4回
業務委託	495,317 (164,516)	490,928 (169,363)	4,389 (△ 4,847)	都立図書館の資料出納及び複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	1,935	2,273	△ 338	・大規模企画展 年3回 ・講演会・セミナー等 年6回
計	2,024,790 (190,501)	1,994,571 (195,325)	30,219 (△ 4,824)	

(注) ・予算額は、年度当初の額

・予算額中の（ ）は、給与関係費（報酬等、共済費、旅費等）で内数

2 令和3年度 決算

(円)

項 目	決 算 規 模	予算額	決算額
I 管理運営等		700,695,000 (7,536,000)	656,792,510 (4,481,379)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21m ² 地上3階 延 8,982m ²		
II サービス事業		146,283,000 (10,744,000)	133,166,348 (7,991,619)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報 2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 193日 入館者数 55,190人 開館日数 193日 入館者数 26,412人		
III 資料収集・整理		382,626,000 (6,390,000)	377,006,686 (5,131,407)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館 2 図書資料の整理 3 修理保全 4 蔵書目録	1 図 書 (1) 新刊和書 20,979冊 (2) 既刊書 1,329冊 (3) 洋書 4,842冊 (4) 中国語・韓国・朝鮮語図書 2,200冊 (5) 電子資料 1枚 (6) 児童書(和書) 3,214冊 (7) 青少年図書(和書) 1,813冊 2 逐次刊行物 (1) 新 聞 165種 (2) 雑 誌 3,920種 (3) 年鑑・年報(和書) 1,202冊 (4) 年鑑・年報(洋書) 185冊		
IV 電算システムの運営		137,697,000	129,244,713
V 図書館協議会		1,630,000 (1,292,000)	1,123,435 (812,650)
VI 業務委託		490,928,000 (169,363,000)	(479,273,201 (158,804,702)
VII タイムリーな企画展		2,273,000	1,491,140
計		1,862,132,000 (195,325,000)	1,778,098,033 (177,221,757)

(注) ・予算額は決算時の額

・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費等)で内数

IV 統計資料（令和4年3月31日現在）

1 所蔵状況

(1) 図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1,422,145	242,327	1,664,472
	総 記	59,532	7,126	66,658
	哲 学	77,126	7,174	84,300
	歴 史	197,243	13,016	210,259
	社 会 科 学	389,934	30,914	420,848
	自 然 科 学	138,046	11,238	149,284
	技 術	154,080	14,154	168,234
	産 業	105,960	6,114	112,074
	芸 術	137,513	14,350	151,863
	言 語	28,719	4,062	32,781
	文 学	133,992	134,179	268,171
	東 京 資 料	259,946	4,768	264,714
	児 童 資 料	0	187,321	187,321
	青 少 年 図 書	0	41,879	41,879
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	183,560	34,994	218,554
	一 般 書	181,448	13,777	195,225
	東 京 資 料	2,112	15	2,127
	児 童 資 料	0	21,201	21,201
	青 少 年 図 書	0	1	1
	中 国 語 図 書	74,956	5,142	80,098
	一 般 書	74,474	137	74,611
	東 京 資 料	482	1	483
	児 童 資 料	0	5,004	5,004
	青 少 年 図 書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	25,245	2,472	27,717
	一 般 書	24,862	36	24,898
	東 京 資 料	383	2	385
	児 童 資 料	0	2,434	2,434
	青 少 年 図 書	0	0	0
特 別 文 庫		243,603	0	243,603
山 本 有 三 文 庫		0	13,560	13,560
計		2,209,455	532,463	2,741,918

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区 分			中 央 図 書 館				多 摩 図 書 館				合 計
			新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小 計	新聞雑誌	児童青少年 資料	東京資料	小 計	
新 聞	日 本 語	継 続	179	223	0	402	45	9	32	86	488
		終刊・中断	251	395	45	691	84	21	0	105	796
		小計	430	618	45	1,093	129	30	32	191	1,284
	外 国 語	継 続	24	3	0	27	3	0	0	3	30
		終刊・中断	46	19	0	65	2	1	0	3	68
		小計	70	22	0	92	5	1	0	6	98
	計		500	640	45	1,185	134	31	32	197	1,382
雑 誌	日 本 語	継 続	1,186	486	0	1,672	5,269	176	0	5,445	7,117
		終刊・中断	2,340	1,669	255	4,264	11,956	735	0	12,691	16,955
		小計	3,526	2,155	255	5,936	17,225	911	0	18,136	24,072
	外 国 語	継 続	52	9	0	61	389	19	0	408	469
		終刊・中断	75	10	329	414	1,213	66	0	1,279	1,693
		小計	127	19	329	475	1,602	85	0	1,687	2,162
	計		3,653	2,174	584	6,411	18,827	996	0	19,823	26,234
マイクロフィルム (注2)			16 (16,482)	12 (1,641)	—	28 (18,123)	16 (10,783)	3 (13)	4 (152)	23 (10,948)	—

(注1)冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,603冊」の内数。
(注2)下段()は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区 分	映画フィルム		ビデオ テープ	LD・ DVD	スライド フィルム	レコード・CD ()はCDで内数	録 音 テープ	航空写真 ネガフィルム
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,496	264	5,800 (1,752)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区 分	録音資料		点字資料	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デイジー			録音テープ	デイジー
中央図書館	3,624点 26,789巻	2,552点 2,580枚	726点 3,495冊	10種 4,068冊	7種 688点	13種 737枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,551点 1,551枚	411点 1,701冊	11種 604冊	19種 4,418点	7種 385点

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区 分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R含む)
中央図書館	66,816点	9,375巻	6,444枚	39,648枚	5,356枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。
電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

(種)		(タイトル)	
区 分	オンラインデータベース 導入数	区分	電子書籍 タイトル数
無料	33	日本語コンテンツ	1,766
有料	1	英語コンテンツ	1,098

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	35,765 (7,227)
受 贈	9,308 (333)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	105 (0)
計	45,178 (7,560)

(注) 年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	1,315
-------------------	-------

(2) 逐次刊行物受入状況

(年鑑年報は冊数 新聞雑誌はタイトル数)

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,387 (185)	128 (19)	37 (2)	926 (53)	2,994 (345)
受 贈	3,134 (36)	244 (6)	47 (1)	1,120 (13)	3,005 (83)
計	4,521 (221)	372 (25)	84 (3)	2,046 (66)	5,999 (428)

(注) ()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	32,697	7,577	4,842	45,116

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
3,356	1,100	0	4,456

4 利用統計資料（令和3年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平均	
令和3年 4月	22	9,030	410	22	3,757	171	12,787
5月	0	0	-	0	0	-	0
6月	28	9,347	334	28	4,634	166	13,981
7月	29	10,555	364	29	4,469	154	15,024
8月	29	11,227	387	29	4,748	164	15,975
9月	28	10,512	375	28	4,260	152	14,772
10月	29	13,102	452	29	4,482	155	17,584
11月	9	5,007	556	20	3,154	158	8,161
12月	0	0	-	26	3,945	152	3,945
令和4年 1月	24	10,874	453	26	4,000	154	14,874
2月	26	12,444	479	26	4,054	156	16,498
3月	29	13,598	469	29	4,526	156	18,124
計	253	105,696	418	292	46,029	158	151,725

イ 複写枚数

(枚)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平均	
令和3年 4月	22	80,870	3,676	22	12,229	556	93,099
5月	0	1,865	-	0	298	-	2,163
6月	28	71,323	2,547	28	15,678	560	87,001
7月	29	72,363	2,495	29	12,214	421	84,577
8月	29	70,134	2,418	29	14,160	488	84,294
9月	28	68,133	2,433	28	15,202	543	83,335
10月	29	80,642	2,781	29	12,141	419	92,783
11月	9	43,536	4,837	20	12,984	649	56,520
12月	0	576	-	26	14,349	552	14,925
令和4年 1月	24	69,042	2,877	26	12,817	493	81,859
2月	26	61,752	2,375	26	11,880	457	73,632
3月	29	73,054	2,519	29	12,997	448	86,051
計	253	693,290	2,740	292	146,949	503	840,239

(注) 来館サービス休止中の郵送複写分及び1日平均の年間計には臨時休館中の郵送複写分を含める。

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、統合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和3年 4月	1,388,286	224,587
5月	1,151,847	247,934
6月	856,188	247,529
7月	793,294	243,700
8月	828,722	246,297
9月	811,677	283,407

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和3年 10月	857,297	247,608
11月	701,301	236,442
12月	717,902	225,916
令和4年 1月	837,644	225,000
2月	798,926	217,505
3月	879,140	229,691
計	10,622,224	2,875,616

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

(人)			(人)		
区 分	各月末現在の登録利用者数		区 分	各月末現在の登録利用者数	
令和3年 4月	5,208		令和3年 10月	7,146	
5月	5,432		11月	7,365	
6月	5,774		12月	7,555	
7月	6,112		令和4年 1月	7,863	
8月	6,435		2月	8,147	
9月	6,781		3月	8,422	

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館ホームページに掲載。

- ・インフルエンザの流行による学級閉鎖（休業）が導入された経緯とその効果を知りたい。
- ・手塚治虫本人が行った講演が載っている資料はないか。
- ・渋谷駅ハチ公広場のレイアウトとハチ公の位置について、戦後から現在まで、どのように変化したのかを知りたい。
- ・関東大震災後及び太平洋戦争後に東京の飲食店数が急増したようだが、それを裏付ける資料はあるか。

ア 質問形態内訳

〔都立図書館計〕

(件)

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1 日平均	総 数	1 日平均	
口 頭	12,243	48	5,141	18	17,384
電 話	26,670	105	6,528	22	33,198
ファクシミリ	3	0	0	0	3
文 書	1,267	5	525	2	1,792
E メール	3,408	13	589	2	3,997
計	43,591	172	12,783	44	56,374

〔中央図書館〕

(件)

区 分	情報サービス課 4 担当	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口 頭	11,803	276	164	12,243	253	48
電 話	22,415	497	3,758	26,670	253	105
ファクシミリ	3	0	0	3	253	0
文 書	1,110	50	107	1,267	253	5
E メール	3,222	131	55	3,408	253	13
計	38,553	954	4,084	43,591	253	172

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が6,992件ある。

〔多摩図書館〕

(件)

区 分	情報サービス担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1 日平均
口 頭	4,058	996	87	5,141	292	18
電 話	5,881	352	295	6,528	292	22
ファクシミリ	0	0	—	0	292	0
文 書	314	211	—	525	292	2
E メール	477	112	0	589	292	2
計	10,730	1,671	382	12,783	292	44

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都 内 公 立 図 書 館	区立図書館	0	61	61
	多摩地区市町村立図書館	0	101	101
	島しょ図書館	0	0	0
	小計	0	162	162
その他		0	33	33
計		0	195	195

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	155,341
1日平均	614

図書・新聞・雑誌の合計

(冊)

多 摩 図 書 館					
図 書			雑 誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌	
年間	21, 529	(12, 912)	86, 615	(11, 123)	108, 144
1 日 平均	74	(44)	297	(38)	370

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 館			
情報サービス課4担当	特別文庫室	視覚障害者サービス担当	計
4,219	131	69	4,419

(注)中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が5,830件ある。

多摩図書館
814

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	2,123	254	2,377
都庁内貸出冊数	914	66	980
複写枚数	7,518	1,644	9,162

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

開室 日数 (日)	閲覧者数 (人)		閲覧数 (冊)		複製関係						資料貸出		合計利用冊数	
					撮影		即日複写		フィルム貸出					
	人数	1日平均	冊数	1日平均	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	冊数	1日平均
253	401	2	2,441	10	108	332	73	197	1	1	0	0	2,971	12

イ 掲載及び復刻・翻刻 ウ 書庫内資料利用冊数

掲載		復刻・翻刻	
件数	冊数	件数	冊数
1,008	2,210	18	30

特別文庫室	
年間	33,564
1日平均	133

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数 (人)	利用点数 (点)
338	602

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デージー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区 分	登録者		対面音訳			テープ・デージー資料				点 訳				
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	テープ資料		デージー資料		受付数	作成数 (冊)	貸出数	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)			点字 (冊)	F D (枚)
中央図書館	282	78	236	344	953	31	0	170 (212)	31 (31)	4,570 (4,579)	3	3 (22)	97 (168)	21 (21)
多摩図書館	106	14	217	217	632	17	0	7 (29)	19 (19)	1,673 (1,673)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(注1) デイジーとは、Digital Accessible Information System（デジタル録音図書）の略。
(注2) 貸出数の中には、借受・貸出分も含む。
(注3) 作成数の中には雑誌・新聞（テープ、デージー及び点訳）は含まない。
(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸し出している。

区 分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合 計
区 立 図 書 館	8,249	2,315	10,564
多摩地区市町村立図書館	50,335	3,608	53,943
島 しょ 図 書 館	553	0	553
計	59,137	5,923	65,060

イ 都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区 分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	50	56	45	45
多摩図書館	10	12	8	8
計	60	68	53	53

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区 分				登 録 数	貸 出	
					件 数	点 数
16 ミ リ 映 画 フ ィ ル ム	団 体			27	67	228 本
	特 別 団 体			10		
		うち、 長期貸出し 島しょ	大島	—	12	120 本
			三宅		0	0 本
			八丈		0	0 本
			小笠原		0	0 本
			計	—	12	120 本
映 写 機 貸 出			—	7	7 台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区 分	トップページ アクセス数
令和3年 4月	75,810
5月	64,164
6月	69,849
7月	69,887
8月	68,520
9月	63,772
10月	69,419
11月	59,027
12月	50,476
令和4年 1月	69,832
2月	59,140
3月	64,417
計	784,313

(13) チャットボット利用状況

区分	ルーム数
令和4年 1月	1,348
2月	1,730
3月	1,227
計	4,305

※チャットボットは、令和4年1月12日稼働。

(14) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員216名。約100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区 分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム1	セミナールーム2
令和3年 4月	4	1	1
5月	0	0	0
6月	11	0	4
7月	8	1	3
8月	2	0	1
9月	3	4	1
10月	14	4	7
11月	10	5	7
12月	12	3	4
令和4年 1月	5	2	5
2月	2	1	4
3月	9	3	3
計	80	24	40

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年6月15日から最大収容人数を3分の1に制限

V 事業実績（令和3年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会等を実施した。

(1) 展示

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
図書館外イベント	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施せず。			
中央図書館企画展示	企画展示「1964 to 2020 クイズでめぐる東京のまち」家で楽しむ ネットde展示	1月16日～4月15日	オンライン	
	企画展示「1964 to 2020 クイズでめぐる東京のまち」	4月1日～4月15日	中央図書館企画展示室	924 名
	企画展示「東京観戦ガイド～読む！知る！楽しむ！Tokyo2020～」	6月26日～10月6日	中央図書館企画展示室	5,342 名
	東京文化財ウィーク2021参加企画展「てえへんだ！ 幕末江戸の事件簿」	11月1日～11月30日	オンライン	
	東京都立中央図書館・第46回全国高等学校総合文化祭東京都実行委員会事務局共同企画展示「完全解説！とうきょう絵文2022」	2月4日～6月30日	中央図書館企画展示室	8,860 名
1階ホール展示	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示「オリンピック・パラリンピックコーナー to 2020」	11月6日～4月24日	中央図書館 1階ホール展示コーナー＊	
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示「オリンピック・パラリンピック競技のルールを学ぼう」	6月1日～10月6日		
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示「輝きの記録－世界への挑戦－」	10月8日～11月10日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「日本のおもちゃと人形」	4月1日～6月30日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸・東京名物づくし」	4月1日～6月30日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「暮らしを彩る日本の伝統工芸」	7月2日～10月6日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸・東京夏の風物詩」	7月2日～10月6日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「和室と日本家屋」	10月8日～11月10日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸・東京うち時間」	10月8日～11月10日		
	Books on Japanコーナー トピック展示「日本刀の世界 The World of Japanese Swords」	4月1日～8月4日		
	Books on Japanコーナー トピック展示「歌舞伎の魅力 The charm of Kabuki」	8月6日～11月10日		
展示アーカイブ	「東京2020アーカイブ資産展示」	1月7日～通年	中央図書館 都市・東京情報コーナー＊	
都市・東京情報コーナーミニ展示	「東京を調べる」	3月5日～5月5日	中央図書館 都市・東京情報コーナー＊	
	「地域再発見！東京の島、多摩で楽しもう」	6月1日～6月30日		
	「都電のいま・むかし」	7月2日～9月1日		
	「東京都庁・新宿移転30周年」	9月3日～11月10日		
	「東京のお寺と神社」	1月7日～3月2日		
	「日本人を惹きつけてやまない桜の魅力とは」	3月4日～5月11日		
ビジネス展示情報	「アフターコロナの行方」	6月1日～8月4日	中央図書館 ビジネス情報コーナー＊	
	「高校生ビジネスプラン・グランプリ」＊日本政策金融公庫との連携展示	7月2日～9月1日		
	「飲食店の今」	9月3日～10月6日		
	「AI(人工知能)のある生活」	10月8日～11月10日		
	「気候変動×エネルギー×ビジネス」	1月7日～3月2日		
	「魅せる！パッケージデザイン」	3月4日～5月11日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
法律情報ミニ展示	「同一労働同一賃金」	7月2日～8月4日	中央図書館 法律情報コーナー＊	
	「大人になったらなにができる？」	8月6日～10月6日		
	「インターネットと法律－SNSトラブル－」	10月8日～11月10日		
	「クリエイターと法律」	1月7日～3月2日		
	「みんなで法学部一年生！」	3月4日～5月11日		
健康・医療情報ミニ展示	「知ろう腎臓病！」	6月4日～8月4日	中央図書館 健康・医療情報コーナー＊	
	「熱中症・夏バテ対策」	8月6日～9月1日		
	「メンタルヘルスを考える」	9月3日～11月10日		
	「創薬－希望の光となるために－」	1月7日～3月2日		
	「春バテに負けない！」	3月4日～5月11日		
社会・自然科学系トピック展示	「祝ノーベル物理学賞 真鍋淑郎さん」	10月6日～11月10日	中央図書館 社会・自然科学系資料・閲覧室＊	
	「ラジオと英語」	2月21日～4月10日	中央図書館 1階中央ホール＊	
	「今、ウクライナを知る51冊」	3月19日～7月18日	中央図書館 1階中央ホール＊	
人文科学系トピック展示	「決定！第165回 芥川賞・直木賞」	7月15日～9月1日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「パキスタン大使館寄贈資料」	8月11日～10月6日		
	「ノーベル文学賞2021 アブドゥルラザク・グルナ」	10月8日～11月10日		
	「決定！第166回 芥川賞・直木賞」	1月20日～3月2日		
	「追悼 小説家 西村賢太さん」	2月7日～3月2日		
	「追悼 西村京太郎さん」	3月7日～4月6日		
人文科学系ミニ展示	「ガラス工芸の世界」	4月1日～6月2日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「世界の古地図」	7月2日～9月1日		
	「ピーナッツの世界～スヌーピーと仲間たち～」	9月3日～11月10日		
	「魔法の世界 Mundi magicae」	1月7日～3月2日		
	「展覧会カタログ～ベストセレクション～」	3月4日～5月11日		
美術展関連展示	「日本の焼きもの 炎と土の芸術」	4月1日～5月10日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室＊	
	「国宝 鳥獣戯画」	5月12日～6月30日		
	「ファッション イン ジャパン 1945-2020～流行と社会」	7月2日～9月1日		
	「柳宗悦と民藝」	9月3日～11月10日		
	「刀剣と浮世絵」	1月7日～3月2日		
	「展覧会カタログ 2021」	3月4日～5月11日		
大使館等連携展示	フィンランドセンター主催「Mythical(神話)」展	4月22日～4月24日	中央図書館 企画展示室＊	
	エクアドル共和国大使館主催「4つの魅惑の世界から成るエクアドル」展	6月2日～6月16日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
多摩図書館 企画展示	「日本の魅力再発見！」	2月5日～5月11日	多摩図書館閲覧室、展示 ウォール、開架書庫＊	
東京マガジンバンク ミニ展示・ウォール展示	ウォール展示「雑誌で見る東京オリンピック・パラリンピックまでのプロセス」	7月26日～10月6日	多摩図書館雑誌エリア＊	
児童ミニサービス 展示	「これならできる！自由研究」「家でもできる！自由研究」	7月21日～8月22日	多摩図書館児童エリア＊	
	「実りの秋」	9月9日～11月19日		
	「クリスマスの本」	11月20日～12月24日		
	「あなたは知ってる？こんな人」	2月4日～終期未定		
	「おひなさまの本」	2月19日～3月8日		
	ほん・本・ごほん	通年		
青少年ミニサービス 展示	「中高生のおすすめ本」	通年	多摩図書館青少年エリア＊	
	「正しく知る。正しく防ぐ。新型コロナウイルス感染症」	4月1日～3月31日		
	「お待たせしました！新着図書」	4月1日～6月21日		
	「高校生直木賞」	6月22日～12月1日		
	「クリスマス」	12月3日～12月28日		
	「知りたいヤングケアラー（わたし/あなた）のこと」	1月4日～8月31日		
スポット 展示	「羅針盤」・「羅針盤Ⅱ」	通年	多摩図書館青少年エリア＊	
	「扉をあけて」・「扉をあけてⅡ」	通年		
	「TAMA selection」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「英語多読棚」	通年		
児童ミニ展示 研究書	「安野光雅の本」	4月1日～5月31日	多摩図書館開架書庫＊	
	「エリック・カール展」	6月1日～9月13日		
	「安野光雅の本」	4月1日～5月31日	多摩図書館児童研究書エリア＊	
	「エリック・カール展」	6月1日～9月13日		
	「神宮輝夫追悼展示」	9月14日～11月18日		
	「文化功労者 松岡享子さんの本」	11月19日～2月3日		
	「日本のわらべうた」	2月4日～5月11日		
児童青少年 資料担当 ウォール展示	「文化功労者 松岡享子さんの本」	11月19日～2月3日	多摩図書館展示ウォール＊	

注*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下を除く講演会、イベント、図書館ツアー、映画会等は実施しなかった。

区 分		日程	会場	参加者数
東京マガジンバンクカレッジ	講演会「続・廃線は語る～時代の変化と東京の鉄道～」	7月3日	Web会議ツールによる オンライン開催	148 名
	大学ゼミ発表会「大学ゼミ成果発表会2022 ～雑誌と社会のかかわりを語り合おう～」	1月29日		59 名
子供読書活動 推進事業	登録制乳幼児おはなし会「わらべうたの会」	6月2日、7月14日、 8月11日、9月8日、 10月12日、11月2日	多摩図書館	延37 名
	登録制乳幼児おはなし会「ウリボウの会」	同上		延36 名
	小学生対象おはなし会	12月23日		2 名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

- ア 目的
- 区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。
- イ 実施形態
- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
 - ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
 - ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
 - ・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
 - ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名			会 場	回数	修了者数
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「東京情報」		中央図書館	1 回	20 名
		テーマ別研修「ビジネス情報」			1 回	21 名
		テーマ別研修「東京情報」		多摩図書館	1 回	29 名
		テーマ別研修「新聞・雑誌情報」			1 回	38 名
		テーマ別研修「ビジネス情報」			1 回	16 名
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ（全3日間）		多摩図書館	1 回	61 名
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修	実施せず		0 回	0 名
		専門研修	（開催中止）		0 回	0 名
	障害者サービス研修			中央図書館・多摩図書館	1 回	51 名
講師派遣	資料保全（製本研修）（4月21日）			武蔵村山市雷塚図書館（1名派遣）	2 回	43 名
	おはなしボランティアステップアップ講座（10月25日）			府中市立中央図書館（1名派遣）	1 回	60 名
	令和3年度子どもサービス実務研修（12月10日）			世田谷区立教育センター（1名派遣）	1 回	25 名
	レファレンス研修（都市・東京情報）（12月15日）			杉並区立中央図書館（2名派遣）	1 回	20 名
	レファレンス研修（ビジネス情報）（1月18日）			中野区立中野東図書館（2名派遣）	1 回	12 名
	レファレンス研修（法律情報）（2月3日）			多摩市立図書館本館（3名派遣）	1 回	15 名
	レファレンス中級研修（ビジネス情報）（2月24日）			世田谷区立中央図書館（2名派遣）	1 回	22 名
	資料保全研修（3月24日）			葛飾区立中央図書館（1名派遣）	1 回	17 名
製本研修	資料保全（製本）研修			中央図書館	2 回	35 名
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会 書面開催			中央図書館	1 回	60 名
	障害者サービス事務担当者連絡会			中央図書館	1 回	44 名
	児童・青少年サービス担当者会（書面開催）			多摩図書館	1 回	1 名
	東京都図書館研究交流会	講演会	実施せず		0 回	0 名
					0 回	0 名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回 書面開催（9月9日）	中央図書館	1 回	60 名
			第2回 書面開催（3月24日）		1 回	60 名
	協力事務担当者会	第1回	書面開催（5月26日）		1 回	60 名
		第2回	書面開催（1月26日）		1 回	60 名

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研 修 名			主 催 者	派遣者数	回数	修了者数
派遣講師	ビジネス・ライブラリアン研修（11月9日）			埼玉県立熊谷図書館	2 名	1 回	10 名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第四次東京都子供読書活動推進計画」（令和3年3月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンスサービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 24件（中央図書館 12件、多摩図書館 12件）
（授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等）

(イ) 子供の読書に関する相談 18件
（子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等）

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、司書の仕事の説明などを行った。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
都立小石川中等教育学校(5年 3名、オンライン開催)	中央図書館	1校	3名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、特別整理業務、資料の分類などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
都立白鷗高等学校附属中学校(2年 4名) この他4校から問合せ等があったが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、中止となった。	中央図書館	1校	4名
小金井特別支援学校	多摩図書館	1校	21名

エ 校外学習の受入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模な校外学習の受入れができなかったため、中央図書館では、校外学習プログラムの動画教材を作成し、オンライン講座等により対応を行った。

	受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
(中学)	広尾学園中学校(2年 159名)	中央図書館	1校	159名
(高校)	都立小山台高等学校(1年 316名、オンライン講座へのリモート参加) この他3校から問合せ等があったが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセル又は延期となった。	中央図書館	1校	316名
(小学校)	国分寺市立第5小学校(2年 69名)	多摩図書館	1校	69名

オ 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等		主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(小学校)	都立立川国際中等教育学校小学部	選書支援		1校	
(特別支援学校)	都立小金井特別支援学校、 都立青島特別支援学校、 都立多摩桜の丘学園、 都立調布特別支援学校、 都立水元小合学園、 都立武蔵台学園	学校図書館選書等相談会		6校	-
(特別支援学校)	都立永福学園	選書支援		1校	
(特別支援学校)	都立武蔵台学園(6回、128名) 都立久我山青光学園(1回、10名)	出張おはなし会		2校	138名
(高校)	都立世田谷総合高等学校(5月19日、5月28日、 9月7日の計3回)	読み聞かせ講座		1校	計37名 (1回目：8名、 2回目：11名、 3回目：18名)

カ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布

342部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「TAMA selection」「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ほん・本・ごほん」

キ 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動(10月5日)	多摩図書館	70名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研 修 名		会 場	回数	修了者数
実務研修	転入職員等研修1		中央図書館	1 回	21 名
	転入職員等研修2		多摩図書館	1 回	14 名
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1 回	9 名
		(後期)	中央図書館・多摩図書館	3 回	18 名
	都立図書館職員研修 「AIがもたらす世界と図書館 ～近未来の都立図書館を考える」		中央図書館（オンライン・オンデマンド配信）	1 回	101 名
	会計年度任用職員研修		多摩図書館	1 回	8 名

区分	研 修 名		主 催	日数	受講者数
派遣研修	中堅職員ステップアップ研修Ⅱ		(公社)日本図書館協会	13 日間	1 名
	関東・甲信越静地区図書館地区別研修		文部科学省・静岡県教育委員会	4 日間	2 名
	レファレンス協同データベース事業フォーラム		国立国会図書館	1 日間	2 名
	ビジネス・ライブラリアン講習会		ビジネス支援図書館推進協議会	4 日間	1 名
	日本病院ライブラリー協会研修会		日本病院ライブラリー協会	1 日間	1 名
	レファレンスサービス研修－科学技術情報の調べ方－		国立国会図書館	1 日間	2 名
	レファレンスサービス研修－人文情報の調べ方－		国立国会図書館	1 日間	2 名
	児童図書館員養成専門講座		(公社)日本図書館協会	15 日間	1 名
	児童文学連続講座		国立国会図書館国際子ども図書館	1 日間	1 名
	全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門		(公社)日本図書館協会	2 日間	1 名
	保存フォーラム 第32回		国立国会図書館	1 日間	1 名
	データベース基礎		株式会社富士通ラーニングメディア	2 日間	1 名
	図書館等職員著作権実務講習会		文化庁著作権課	2 日間	1 名
	図書館等職員著作権実務講習会(オンデマンド)		文化庁著作権課	1 日間	2 名
	全国図書館大会		(公社)日本図書館協会、山梨県立図書館	2 日間	8 名
	出版セミナー		(公社)全国出版協会・出版科学研究所	1 日間	1 名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（令和3年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 令和3年度版	令和3年7月	800部
東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 210～No. 215	令和3年5月 ～令和4年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 68～No. 70	令和3年6月 ～令和4年2月	各250部
都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド 改訂版	令和3年8月	5,000部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	令和3年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集 冊子版	平成26年6月5日	139円+税	78部
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月28日	139円+税	551部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料及び東京都行政資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

6 都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和2年2月～令和4年3月

令和2年 2月中旬	イベント開催の可否についての検討開始 2月21日以降開催又は実施するイベント等（会議、施設見学等含む）を中止又は延期
2月28日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の臨時休館と限定的なサービスの提供について
2月29日～ 4月7日	臨時休館開始。 閲覧室等の施設利用等、来館サービスのほとんどを停止 限定的に実施する来館サービスとして、事前予約制の複写サービス（1人1時間、1時間当たり中央図書館4名程度、多摩図書館2名程度まで）を実施 メール・電話でのレファレンスサービス、図書館間の協力貸出は通常どおり継続
3月上旬	学校休校が続く場合の子供の居場所づくり・学習支援への対応を検討
3月16日	HP内に「今こそできる！こんなこと～都立図書館 学習・読書応援ポータル」を開設
3月25日	知事緊急記者会見（感染爆発の重大局面、夜間・週末の外出自粛要請）を受け、事前予約制の複写サービスの時間を短縮（21時まで→17時まで、土日は中止）
3月26日	パンデミック（緊急事態宣言発令）を想定した「都立図書館BCP」の策定に着手
4月6日	都立図書館BCP策定
4月7日	7都府県に緊急事態宣言
4月8日～ 5月31日	「東京都緊急事態措置」（図書館は「基本的に休止を要請する施設」、職員の出勤は2割程度、8割は在宅勤務）を踏まえたBCPにより、予約制複写サービス、電話によるレファレンス、協力貸出等を休止。メールによるレファレンス、郵送複写サービスは縮小実施。ホームページ運用は継続実施。特別整理休館の中止。
4月26日～ 5月31日	多摩：駐車場閉鎖
5月26日	<緊急事態宣言解除> 【プレス発表】東京都立図書館の段階的開館について（6月1日より再開）
5月27日	10時 予約受付開始（電話のみ）
6月1日	第1段階開館スタート 完全予約制（中央：2時間12人まで、多摩：1時間2人まで） 多摩：キニョン（パン屋）再開（テイクアウトのみ 営業時間10時～16時 7月18日より11時～16時に変更）
6月12日	【プレス発表】東京都立図書館の段階的サービス拡充について（6月22日～）
6月15日	多摩：セミナールーム再開、以後、図書館の来館サービス休止期間中は利用休止
6月17日	10時 第2段階予約開始（Web、電話）（予約は原則1人週1回まで）
6月22日	第2段階スタート 予約制・当日枠あり（中央：3時間100人まで、多摩：2時間45人まで） 中央：対面音訳サービス再開（音訳者と利用者は別々の小部屋に入り、内線電話を使って音訳サービスを提供）
7月13日	多摩：対面音訳サービス再開（中央と同様の方法）
7月15日	事前予約枠に残がある場合、当日利用枠に振替える対応を開始
7月19日	事前予約を、1人週2回に拡大
7月27日	5階カフェテリア（有栖川食堂）再開（営業時間11時～14時）
8月3日	1階カフェ再開（営業時間10時～17時）

10月12日	第3段階スタート 予約制・当日枠あり（中央：3時間200人まで、多摩：3時間80人まで） 事前予約を、1人1日1回に拡大（毎日予約も可能）（電話予約は原則週2回まで） 中央：利用エリア拡大（1階 音声・映像コーナー、4・5階 閲覧室、5階 キッズルームをオープン） 対面音訳サービスの拡大（1回2時間・各回1名⇒1回3時間・各回2名） 当日枠は整理券を配布せず、先着順に入館。 多摩：こどものへやの電話予約開始 対面音訳サービスの拡大（1回2時間・各回1名⇒1回3時間・各回1名） カフェスペース再開（11時～16時）、以後、キニョン・カフェスペースともに来館サービス休止期間中は閉鎖
12月1日	第4段階スタート（利用方法の変更） 予約制・当日枠あり（中央：時間制限なし、在館400人まで、17:30以降は予約不要） （多摩：3時間80人まで） 中央：利用可能エリア＝5階交流ルームを除くすべてのエリア 多摩：座席指定をやめ、全席自由に
12月9日	5階カフェテリア（有栖川食堂）営業時間延長（営業時間11時～17時）
12月22日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの一時休止及び来館しなくても利用できるサービスの提供等について
12月28日、 1月4日～ 1月11日	年末年始期間における更なる感染拡大防止のため、来館サービスを一時休止 非来館サービスは実施（電話受付は平日21:00、土日は17:30まで）
令和3年 1月7日	1都3県に緊急事態宣言（1月8日～2月7日）
1月8日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止期間の延長及び来館しなくても利用できるサービスの提供について
1月12日～ 2月7日	来館サービスを延長 非来館サービスは実施（電話受付は17:30まで）
2月3日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止期間の延長及び来館しなくても利用できるサービスの提供について
2月8日	10都府県に緊急事態宣言の延長（～3月7日）
2月8日～ 3月31日	来館サービスを再延長 非来館サービスの実施は変更なし
2月27日～ 3月31日	多摩：駐車場閉鎖
3月5日	首都圏1都3県の緊急事態宣言が再延長（～3月21日）
3月21日	緊急事態宣言解除
4月1日～ 4月24日	来館サービス再開（第4段階ベース） 予約制・当日枠あり（中央：時間制限なし、在館400人まで、平日の17:30以降は予約不要） （多摩：3時間80人まで） 多摩：キニョン 営業時間変更（営業時間10時～16時）
4月12日	東京都にまん延防止等重点措置（23区と6市） 多摩図書館のある国分寺市は対象外
4月12日～ 4月24日	中央図書館の開館時間の短縮 （平日は20時閉館。ただし、非来館サービスについては21時まで実施）
4月23日	4都府県に緊急事態宣言（4月25日～5月11日）

4月23日	【プレス発表】新型コロナウイルス感染症への対応に伴う東京都立図書館の来館サービスの休止及び来館しなくても利用できるサービスの提供等について
4月25日～ 5月31日	来館サービス休止 非来館サービスは実施（電話受付は17:30まで） 多摩：駐車場閉鎖
5月12日	緊急事態宣言延長（～5月31日）
5月28日	【プレス発表】東京都立図書館の来館サービスの再開について
6月1日	緊急事態宣言再延長（～6月20日）
6月1日～	来館サービス再開 予約制・当日枠あり（中央：第3段階ベース 3時間250人まで、多摩：第4段階ベース 3時間80人まで） 開館時間短縮（中央・多摩：平日20時まで。土日祝17時まで） 中央：5階カフェテリア（有栖川食堂） 平日11時～14時のみ営業 多摩：セミナールーム利用時間短縮（9時～17時）、キニョン営業時間短縮（10時～16時） カフェスペース再開（10時～16時）
6月18日	緊急事態宣言解除、まん延防止等重点措置に移行（6月21日～7月11日）
6月21日	中央：1階カフェ再開 平日10時～17時のみ営業
7月8日	沖縄県に加えて東京都に緊急事態宣言（7月12日～8月22日）
7月30日	緊急事態宣言延長（～8月31日）
8月17日	緊急事態宣言再延長（～9月12日）
9月9日	緊急事態宣言再延長（～9月30日）
10月1日	緊急事態宣言解除
10月4日～	来館サービス拡大（第4段階ベース） 予約制・当日枠あり（中央：時間制限なし、在館400人まで、17:30以降は予約不要） （多摩：3時間80人まで、土日祝の最終回は3時間半80人まで） 開館時間延長（中央・多摩：平日21時まで。土日祝17時30分まで） 多摩：セミナールーム夜間利用再開
令和4年 1月7日	中央：閲覧席や各カウンター、トイレ等に光触媒による抗菌・抗ウイルスコーティング施工を実施 5階カフェテリア（有栖川食堂） 月曜～金曜11時～17時のみ営業、1階カフェ営業休止
1月19日	東京都にまん延防止等重点措置（1月21日～2月13日）
2月3日	多摩：閲覧席やこどものへや、セミナールーム、トイレ等に光触媒による抗菌・抗ウイルスコーティング施工を実施
2月10日	まん延防止等重点措置延長（～3月6日）
3月4日	まん延防止等重点措置延長（～3月21日）

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ〜ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ〜セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長禄年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、尺牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士 諸橋轍次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書。經学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎てきさいから代々集積

された書籍である。曾祖父に当たる佐藤一斎いつさいの「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村瓊次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎そんけん(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤恵秀氏さねとう けいしゅう(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造とうすい(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ〜ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄なおすみ旧蔵書、文学関係資料には池田文庫(池田亀鑑きかん氏旧蔵)の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋茂橘はちやもきつ氏旧蔵)の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約10,000点(冊)

岡文庫（岡 千仞^{せんじん ろくもん}氏旧蔵）の稿本類、反町文庫（反町茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山久四郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫（宍戸 昌^{ししど さかり}氏旧蔵）の海雲楼博物雑纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎^{けんろう}父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂 憲^{いわたれ のり}徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山 健堂^{けんどう}氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だてはないが、中には希覯^{きこう}なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤 廉平^{れん ぺい}氏（1848-1921）の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和 6 年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和 20 年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一（青淵^{せい えん}）氏（1840-1931）が創始した文庫で、大正 12 年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏（1896-1963）がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和 38 年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

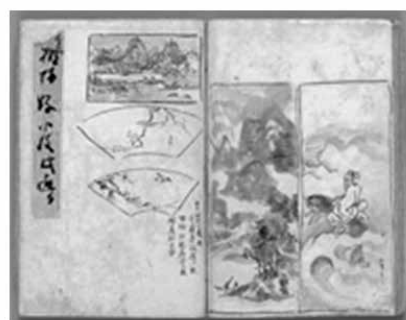
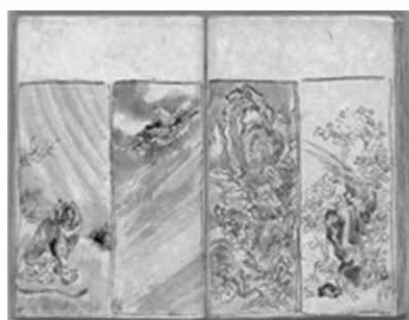
中山太氏（1876-1947）が収集した、正保 2（1645）年から大正 4（1915）年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975 年に木子清忠氏（1913-1995）から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,800 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



谷文晁^{ぶんちやうせんせい}筆『文晁先生自画縮図』2 帖

紙本墨画（一部淡彩）文政5（1822）年頃 加賀文庫* 加4622

本書は江戸後期、大和絵に西洋画などの手法を取り入れ独自の画風を創出し、江戸文人画壇の人気絵師として一世を風靡^{たに ぶんちやう}した谷 文晁（1763-1841）による、自筆の画帖である。収められる作品は山水、人物、花鳥画に及び、掛幅や扇面画まで様々な形式がみられる。これらの絵画は文晁が揮毫^{きこう}の依頼によって手掛けた作品を、自身の手控え用に縮図として残したものである。

*本年は、加賀文庫の旧蔵者加賀豊三郎氏（1872-1944）の生誕 150 年にあたる。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体で編集発行された郷土資料など図書約 262,900 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 640 種、雑誌は約 2,170 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 183,600 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く）がある。

在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他文化への理解を深める資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 75,000 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 25,200 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、令和 4 年 3 月末現在約 8,300 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することにより、時代の流れが見えるものであり、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 257,800 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 7,400 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

VII 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 30 期東京都立図書館協議会について

第 30 期の図書館協議会は、令和 3 年 7 月 1 日に設置された。「都立図書館の DX とその先にあるサービス」をテーマとして協議し、令和 3 年度は定例会を 3 回、部会を 2 回開催した。

<定例会>

第 1 回（令和 3 年 9 月 6 日開催）

- (1) 協議テーマの決定
- (2) 今後の協議に向けて
- (3) 今後の協議の進め方及び作業部会の設置
- (4) 今後の協議スケジュール

第 2 回（令和 3 年 12 月 17 日開催）

- (1) 第 1 回 DX による利便性向上部会の検討内容について
- (2) 令和 2 年度東京都立図書館自己評価について

第 3 回（令和 4 年 3 月 11 日開催）

第 2 回 DX による利便性向上部会の検討内容について

<DX による利便性向上部会>

第 1 回（令和 3 年 10 月 25 日開催）

第 2 回（令和 4 年 2 月 1 日開催）

3 第 30 期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 令和 3 年 7 月 1 日～令和 5 年 6 月 30 日）

氏 名（五十音順）	職 名（令和 4 年 3 月現在） ※五十音順
赤 羽 淳 子	公募委員（児童文学作家、日本児童文学者協会理事）
五十嵐 俊 子	渋谷区教育委員会教育長
植 村 八 潮	専修大学文学部教授兼大学院法学研究科教授
◎小 田 光 宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授・学部長
久 我 尚 子	株式会社ニッセイ 基礎研究所生活研究部上席研究員
小 林 正 基	東京都立駒場高等学校校長
関 根 千 佳	株式会社ユーディット会長、同志社大学客員教授
橘 雅 子	公募委員（株式会社マチミク代表取締役）
新 居 みどり	特定非営利活動法人 国際活動市民中心 理事／コーディネーター
古 屋 真 宏	国分寺市教育委員会教育長
○松 本 直 樹	慶應義塾大学文学部人文社会科学部図書館・情報学専攻准教授
和 気 尚 美	三重大学情報教育・研究機構助教

◎議長 ○副議長

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期 間	答申等年月	答 申 等
第 1 期	昭和 35 年 2 月 ～昭和 37 年 1 月	昭和 37 年 2 月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第 2 期	昭和 37 年 2 月 ～昭和 39 年 1 月	昭和 38 年 7 月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第 4 期	昭和 41 年 3 月 ～昭和 43 年 2 月	昭和 43 年 2 月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第 6 期	昭和 45 年 4 月 ～昭和 47 年 3 月	昭和 46 年 12 月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第 8 期	昭和 47 年 7 月 ～昭和 49 年 6 月	昭和 49 年 6 月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスの あり方 (答申)
第 11 期	昭和 55 年 9 月 ～昭和 57 年 9 月	中間答申 昭和 56 年 6 月 最終答申 昭和 57 年 5 月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第 15 期	昭和 63 年 10 月 ～平成 2 年 10 月	中間答申 平成 2 年 3 月 最終答申 平成 2 年 10 月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第 16 期	平成 3 年 1 月 ～平成 5 年 1 月	平成 4 年 12 月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第 17 期	平成 5 年 4 月 ～平成 7 年 4 月	平成 7 年 3 月	都立中央図書館における当面の海外資料サービス のあり方について (意見具申)
第 18 期	平成 7 年 7 月 ～平成 9 年 7 月	平成 9 年 3 月	21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第 19 期	平成 9 年 11 月 ～平成 11 年 10 月	平成 11 年 10 月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第 20 期	平成 11 年 11 月 ～平成 13 年 10 月	平成 13 年 10 月	高度情報化社会における都立図書館のサービスの あり方 － I T を活用したサービスの革新－ (提言)
第 21 期	平成 14 年 4 月 ～平成 16 年 3 月	平成 15 年 3 月 平成 16 年 2 月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は 何をすべきか (提言 1) 都内公共図書館発展のための連携協力について (提言 2)
第 22 期	平成 16 年 10 月 ～平成 18 年 9 月	平成 18 年 3 月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第 23 期	平成 18 年 12 月 ～平成 20 年 11 月	平成 20 年 11 月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第 24 期	平成 21 年 5 月 ～平成 23 年 4 月	平成 23 年 3 月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第 25 期	平成 23 年 5 月 ～平成 25 年 4 月	平成 25 年 3 月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第 26 期	平成 25 年 5 月 ～平成 27 年 4 月	平成 27 年 3 月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第 27 期	平成 27 年 7 月 ～平成 29 年 6 月	平成 29 年 2 月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020 年とその先に向けた提言－ (提言)
第 28 期	平成 29 年 7 月 ～令和元年 6 月	平成 31 年 3 月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－ (提言)
第 29 期	令和元年 7 月 ～令和 3 年 6 月	令和 3 年 3 月	都立図書館ならではのサービスを考える －保有する情報資源の一層の活用を目指して－ (提言)

VII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 平成28年11月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
- 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
- 6 図書資料等の複写
- 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の貸出し
- 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2 1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2 2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

- 1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割
- 2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割
- 3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分
- 4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかった場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならない。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する、

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

別表第1 (第4条、第11条関係)

館の名称		中央図書館及び多摩図書館
開館時間及び休館日		
開館時間	月曜日から金曜日まで	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び日曜日	午前10時から午後5時30分まで
休館日	年始	1月1日から同月3日まで
	年末	12月29日から同月31日まで
	設備等の保守点検日	毎月1日以内
	館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間	1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分			使用単位		金額
施設	セミナールーム	分割しないで使用する時。	午前		8,100円
			午後		10,800円
			夜間		8,100円
			全日		27,000円
		分割して使用する時。	1	午前	4,200円
				午後	5,600円
				夜間	4,200円
				全日	14,200円
			2	午前	3,800円
				午後	5,100円
				夜間	3,800円
				全日	12,800円
	講師控室	1	午前	300円	
			午後	400円	
			夜間	300円	
			全日	1,000円	
2		午前	300円		
		午後	400円		
		夜間	300円		
		全日	1,000円		
附帯設備	音響映像操作機器		一式1回	2,900円	
	液晶モニター		一式1回	120円	
	プロジェクター		一式1回	840円	
	ワイヤレスマイクセット		一式1回	240円	

（別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。）

2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画ー1972ーに組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
48. 10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正(昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正(名称変更: 東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)
5 都立多摩図書館開館

- 昭和 63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
2. 3 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
 10 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
 12 「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第 17 期東京都立図書館協議会意見書)
9. 3 「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)
 「21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」(第 18 期東京都立図書館協議会答申)
10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定(都立 3 館)
 7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか?－社会問題への図書館の関わり方」(第 19 期東京都立図書館協議会提言)
 11 「資料保存計画」策定(東京都立図書館資料保存委員会)
 東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
 都立図書館ホームページ開設
 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館(平成 14 年 2 月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－IT を活用したサービスの革新」
 (第 20 期東京都立図書館協議会提言)
 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」
 (都立図書館あり方検討委員会報告)
 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の 3 館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
 都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第 21 期東京都立図書館協議会提言 1)
 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始(平成 19 年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第 21 期東京都立図書館協議会提言 2)
 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第 22 期東京都立図書館協議会答申)
 7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース(G-Search サービス)の有償提供の試行開始
 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の 8 係を 6 係に組織改正
 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性に

ついて合意

平成 20. 11 都立図書館創立 100 周年＜明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館＞
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管

- 12 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
- 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
- 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更（午前 10 時から開始）
- 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
- 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
- 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
- 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
- 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
- 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
- 11 東京都立図書館 Twitter を開始
- 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
- 10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
- 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指してーより質の高い図書館サービスの追求ー」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
- 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
- 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
- 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
- 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
- 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後 3 か年の重点目標」を設定
- 7 都立中央図書館 カフェコーナーを 1 階にオープン
28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
- 8 都立多摩図書館建設工事竣工
- 10 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
- 12 都立中央図書館 2020 年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
29. 1 都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）
- 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して-2020 年とその先に向けた提言-」（第 27 期東京都立図書館協議会提言）

平成 29. 10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」 試行的実施

11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始

都立中央図書館 「キッズルーム（授乳室付き）」を開設

都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書の国際交換に伴う贈呈式を実施

30. 1 「都立図書館実行プラン to 2020」策定

2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催

3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設

6 都立中央図書館 5階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして1階に移転

9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設

10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」（浜離宮恩賜庭園）に出展

31. 2 平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書を発行

31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」（第 28 期東京都立図書館協議会提言）

令和 元. 7 都立図書館ホームページに「平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書」と「平成 30 年度都立図書館利用実態・満足度調査」報告書を掲載

10 令和元年台風第 19 号の関東地方上陸により、10 月 11・12 日を臨時休館とする。

2. 2～4. 3 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策下における館運営については、p. 27～29「都立図書館 新型コロナウイルス感染症対策の経緯 令和 2 年 2 月～令和 4 年 3 月」を参照

3. 2 「都立図書館実行プラン 2021-2023 AI 時代の都立図書館へのファーストステップ」策定

3. 3 「都立図書館在り方検討委員会 最終報告～AI 時代の都立図書館像～」

「都立図書館ならではのサービスを考えるー保有する情報資源の一層の活用を目指してー」（第 29 期東京都立図書館協議会提言）

3. 11～4. 1 都立中央図書館 工事等に伴う来館サービスの休止（11/11～1/6）

（11/15～12/28 は非来館サービス等を実施）

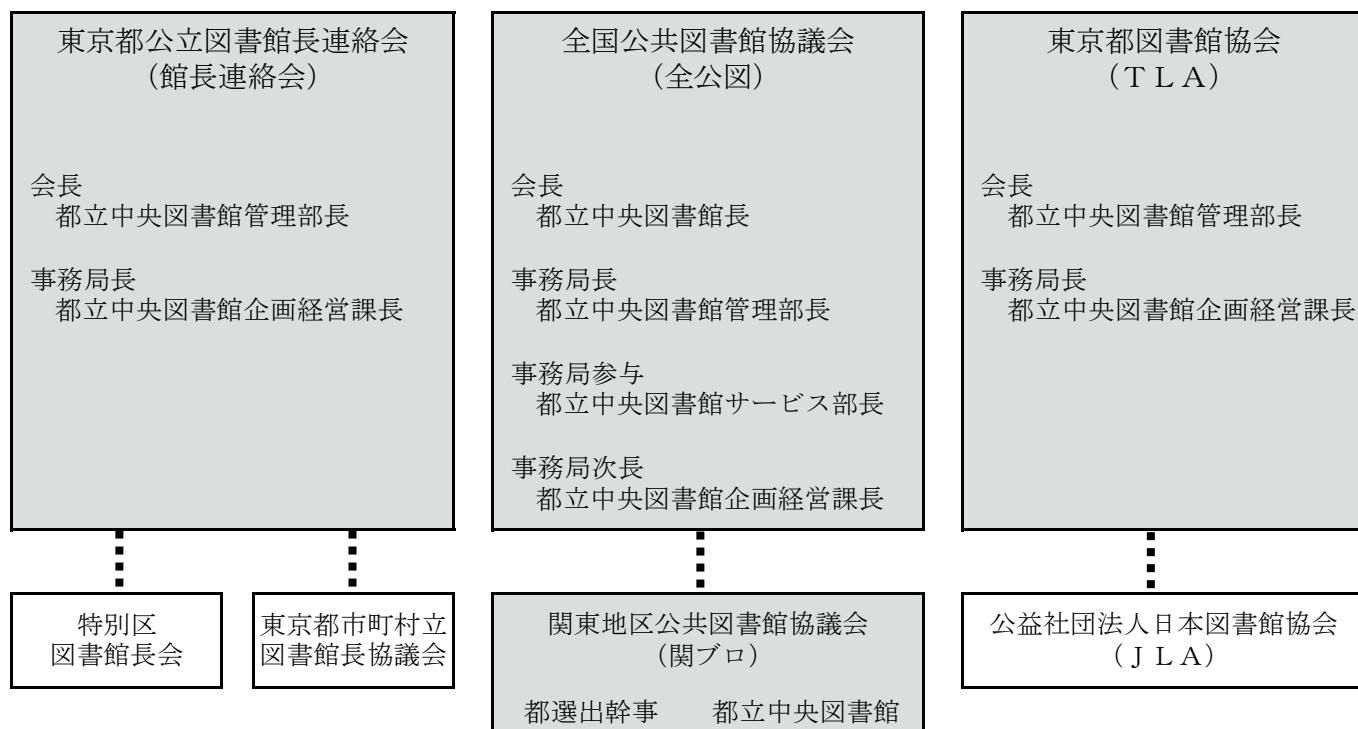
4. 1 都立中央図書館 1 階中央ホールの展示コーナーを「話題の洋書コーナー」にリニューアル

都立中央図書館 東京 2020 アーカイブ資産展示コーナーを開設

チャットボットサービス「都立図書館利用案内 Q&A」を開始

3 図書館関係団体・組織一覧

(令和4年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会（館長連絡会）

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会（全公図）

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会（TLA）

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会（関ブロ）

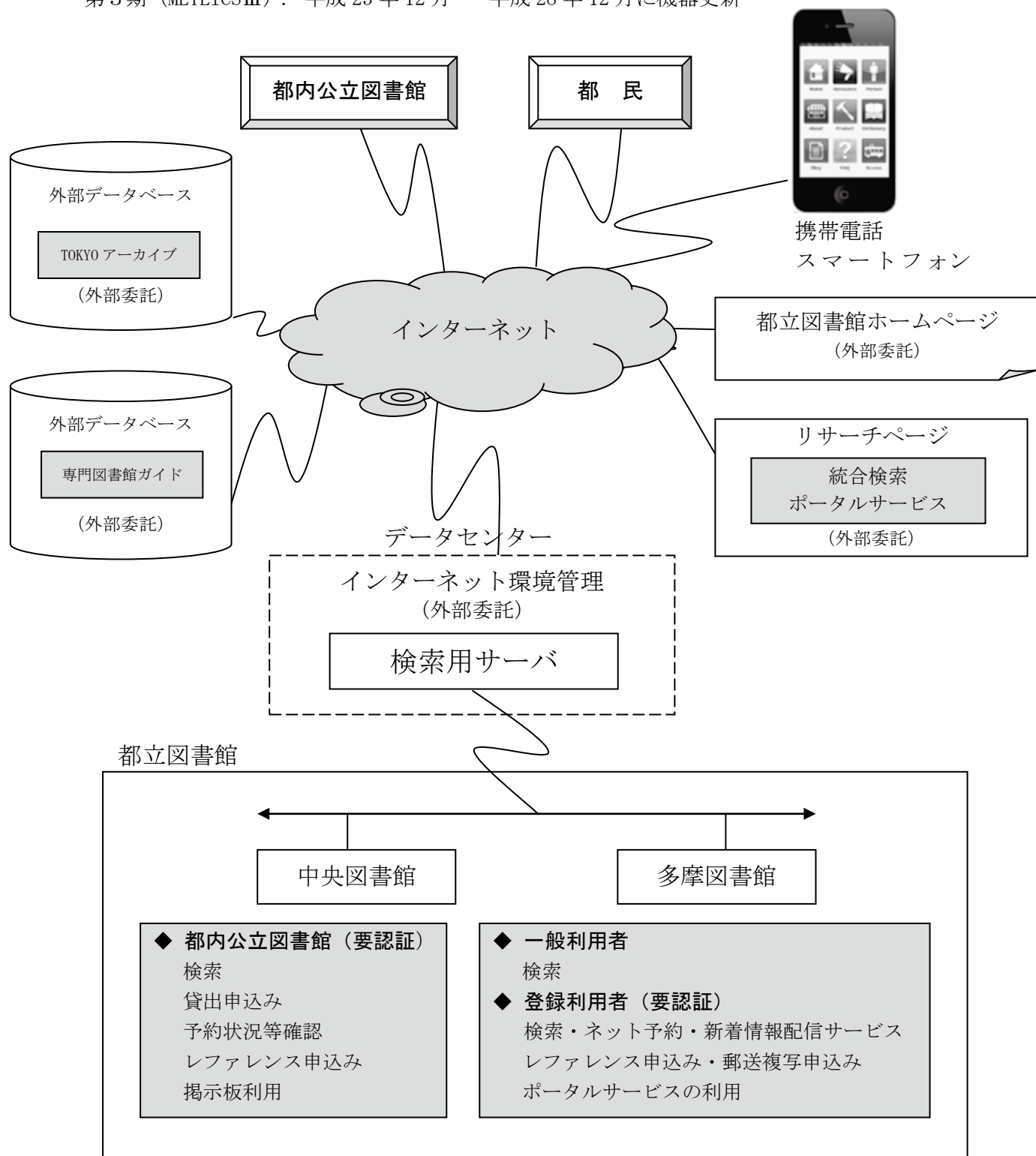
関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICSⅠ)：昭和63年3月～

第2期 (METLICSⅡ)：平成12年2月～平成17年6月に機器更新

第3期 (METLICSⅢ)：平成23年12月～平成28年12月に機器更新



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 7 台
- ・ クライアント : 231 台

業 務 用 : 138 台 (中央 105 台、多摩 33 台)
利 用 者 用 : 93 台 (中央 66 台、多摩 27 台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>



携帯電話等からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/feature_phone/index.html
- スマートフォンからの蔵書検索
<https://catalog.library.metro.tokyo.lg.jp/winj/sp/top.do>

東京都立図書館 Twitter

https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook

<https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録ください。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

＊話題の洋書コーナー（令和4年1月新設）

日本の伝統・文化や観光情報を紹介する洋書「Books on Japan（日本に関する洋書）」のほか、各分野の新着洋書、書評誌等で取り上げられた海外の「話題の本」などを集めて、タイムリーに提供しています。

○ 重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。また、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約200冊を置く「介護応援コーナー」を設置しています。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約900冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の雑誌約20誌も備えています。

過去の新聞（約500紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約4,000誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。

また、「都市計画」「海外都市」「都市の産業」など、都市に関する資料を10のテーマ別に配置し、「都市」に関する情報を提供しています。開架図書は約38,800冊です。東京関係の雑誌約30誌、都市に関する雑誌約30誌も備えています。



▲中央図書館



▲都市・東京情報コーナー

○ 音声・映像コーナー

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、約 18,100 点を所蔵しています（4 席）。

○ カフェコーナー

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

2 階

○ 社会・自然科学系 資料・閲覧室

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3 階

○ 人文科学系 資料・閲覧室

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」では、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

「日本語学習コーナー」では、約 400 冊の日本語学習用資料を言語別・テーマ別に展示しています。

また、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ 視覚障害者サービス室

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デージー図書を含む）6,176 点、点字図書 726 点、点字雑誌 10 種、録音雑誌 20 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4 階

○ 閲覧室

ほぼ全席にパソコン用の電源があります。

○ 企画展示室

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ グループ閲覧室

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ 多目的ホール

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5 階

○ 閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ グリーンビューシート

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です(12席)。

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています（p. 28～29 参照）。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席です。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます(19 席)。

○ 交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながらの調査研究や異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます(36 席)。

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、授乳用の椅子やおむつ交換台も用意しています。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

=各階=

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1 階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1 階から 3 階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1 階から 4 階の閲覧席、5 階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）

1 階から 4 階の閲覧室、5 階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料 Wi-Fi（TOKYO FREE Wi-Fi）が利用できます。

◆ 案内ホットライン

2 階及び 3 階には、案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・ 1 階受付で、車椅子の貸出をしています。
- ・ 1 階新聞閲覧コーナー、2 階資料・閲覧室、3 階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・ 1 階と 2 階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3 階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・ 1 階と 4 階に AED を設置しています。

【建物概要】

昭和 47 年 3 月 竣工
 昭和 48 年 1 月 新築、開館
 平成 7 年 7 月～平成 8 年 5 月 施設・設備改修
 平成 20 年 5 月～12 月 施設・設備改修
 鉄筋鉄骨コンクリート 地上 5 階、地下 2 階
 敷地面積 9,157.21 m²
 延べ床面積 延 23,196.21 m²
 収蔵可能冊数 約 208 万冊（うち、開架 35 万冊）
 閲覧席 916 席（スツール席含め、1,062 席）
 敷地内全面禁煙

【各階の閲覧席数】

1 階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2 階	資料・閲覧室	194
3 階	資料・閲覧室	276
4 階	閲覧室	160
	グループ閲覧室	24
5 階	閲覧室	72
	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成 29 年 1 月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。



▲多摩図書館

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却のほか、オンラインデータベース等の利用を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30 種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館の資料を使った展示やテーマごとの企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約 1 か月分の新聞 40 紙を配架しています。新聞を写真形式で保存したマイクロフィルムを見ることもできます。



▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約 6,000 タイトルのうち、約 1,500 タイトルの最新約 1 年分を配架しています。

このうち、日本語雑誌は 50 のジャンル別に約 1,100 タイトル、外国語雑誌は 12 か国語約 400 タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約 3,200 冊の参考図書のほか、都政資料も備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約 25,600 冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約 9,100 冊あります。

また、子供の読書活動推進や、学校での読書活動を支援するために作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 13,000 冊の絵本や物語、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供たちが気軽に質問や相談ができるようにしています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、親子や友達同士でゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 32,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面朗読及び録音資料の作成を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi (TOKYO FREE Wi-Fi)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆ バリアフリー対応等

- ・総合案内で、車椅子の貸出をしています。
- ・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
- ・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
- ・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
- ・入口に AED を設置しています。

【建 物 概 要】

平成 28 年 8 月	竣工
平成 29 年 1 月	移転開館
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 3 階
敷地面積	7,216.74 m ²
延べ床面積	延 8,982 m ²
収蔵可能冊数	約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)
閲覧席	227 席
敷地内全面禁煙	

8 案 内 図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

 ただし、
 - ・特別文庫室 午前10時～午後5時30分
- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日から1月3日まで

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分
- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451（代）

- 【交通】
- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
 - ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
 - ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
 - ・都バス 橋86系統 目黒駅前～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
 - ・港区コミュニティバス（ちいばす） 麻布西ルート 97愛育クリニック 徒歩2分



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町2-2-26
電話 042-359-4020

- 【交通】
- ・JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩7分
 - ・京王バス 寺85系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地） いずみプラザ前 徒歩5分
 - ・ぶんバス 万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート 西国分寺駅東 徒歩4分

事業概要 令和4年度版

登録番号（4）第1号

主要刊行物指定

令和4年7月29日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 株式会社 能登浦

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

